



小金井 月刊 こうみんかん

2021.3/1 No.515

編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL042-383-1184
メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

起きます！起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！僕・私。
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

安野光雅氏 追悼



緑センター1階図書館緑分室入口から
見上げる魔方陣

緑センターのシンボルである「魔方陣」の作者である、
画家であり絵本作家の安野光雅氏が令和2年12月24日に
お亡くなりになりました。

長く小金井市でご活躍いただきました安野氏の功績を
たたえ、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

●安野光雅氏の経歴

1926年（大正15年）3月20日島根県生まれ。

1951年に画家を目指して上京、武蔵野、三鷹の小学
校で教員を務める。

教員を退職後、1968年に絵本作家として独立し、多
くの作品を執筆する。

『ふしぎなえ』や『ABCの本』『さかさま』など、作
品は海外でも高く評価され、1984年には児童文学のノ
ーベル賞と呼ばれる「国際アンデルセン賞」を受賞。

国内では1988年には紫綬褒章、2008年には菊地寛賞、
2012年には文化功労賞を授与される。

●緑センターのシンボル 安野光雅氏作の「魔方陣の壁画」

緑分館のシンボルである魔方陣の壁画は、平成3年に
公民館緑分館開設の際、小金井市在住の安野氏に製作を
お願いしたところこころよく引き受けていただきました。



魔方陣のパネルの一部

魔方陣は、1から16までの数字が書かれた34センチ四
方のタイル720枚が張られた壁画です。

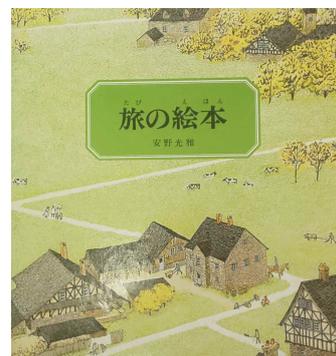
●魔方陣について

この魔方陣は、どこでも好きな数をもとにして縦、
横、斜めに並ぶ4枚のタイルの数を加えると「34」に
なります。

小人の顔の部分は数をかくしています。どんな数に
なるでしょうか。

魔方陣についての説明が書かれたタイルには、安野氏
のサインが刻印されています。

●安野光雅氏の絵本紹介



『旅の絵本』
作・絵：安野光雅
出版社：福音館書店

中部ヨーロッパの自然
や街並みを背景に、繊細
で美しいタッチと色彩で
描かれた絵本。

1977年に発表された作
品はシリーズ化され、
2013年に日本編、2018年

にスイス編が発表され、全9巻あります。

風景の美しさと生き生きと生活する人物に圧倒される
と同時に、1ページ1ページ様々な仕掛けが描かれてい
て、ページの隅々まで探すおもしろさがあります。

何度読んでも新しい発見があり、おうち時間が長い今、
ゆっくり時間をかけて楽しめるお薦めの絵本です。

注意

新型コロナウイルス感染症予防の為、掲載の情報は変更になる場合がございます。
主催事業の開催の詳細は、小金井市ホームページの確認または公民館各館へお問い合わせください。
ご理解のほどよろしくお願いたします。(2月16日現在の情報を掲載しています)

音楽鑑賞のつどい

「スプリングコンサート」 貫井南分館

本格的なクラシックや誰もが知っている名曲から子どもが楽しめるアニメソングなど、世代を超えて楽しめる演奏会を開催します。

とき 3月14日(日) 午後1時30分～3時

ところ 公民館貫井南分館学習室A・B

演奏 島戸祐子さん(ヴァイオリン)

岸優子さん(ヴィオラ)

内田美苗さん(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン「ヴァイオリンソナタ・スプリング」、ショパン「ノクターン」、シューベルト「蜂」、人気アニメ主題歌、日本の春のメドレー他

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 25人(申込順)

参加費 無料

申込 3月1日(月)午前9時から電話、または公民館貫井南分館窓口(☎042-383-1168)へ。

音楽鑑賞のつどい

「オペラって楽しい! Vol.7

～ラ・ボエーム～ 緑分館

大好評「オペラって楽しい!!」第7弾。今回はプッチーニ作曲オペラ「ラ・ボエーム」のハイライトシーンを実演します。

とき 3月20日(土) 午後1時30分～3時30分

ところ 公民館緑分館レクリエーション室

出演 三浦義孝さん(テノール歌手)

山田裕香さん(ソプラノ歌手)

金子渚さん(ピアノ演奏者)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 25人(申込順)

参加費 無料

持ち物 履物(スリッパなど)、履物を入れる袋

申込 3月1日(月)午前9時から電話、または公民館緑分館窓口(☎042-387-7301)へ。

市民がつくる自主講座

(一般部門・男女共同参画部門) 企画を募集 本館

令和3年度の市民がつくる自主講座企画の募集を行います。

応募資格 企画、運営、広報、感染防止対策を自主運営で行える市内在住・在勤・在学の個人または団体。

申請書配布 3月1日(月)～3月31日(水)に公民館各館。

申請受付 4月1日(木)～4月30日(金)に公民館各館窓口へ。

問合せ 公民館本館(☎042-383-1184)

少年教育事業

「ひがし子ども囲碁教室」 東分館

囲碁を通して社会のルールやマナーの大切さを学びます。

レベル別のクラス編成とカリキュラムによる指導で上達を目指しましょう。



とき 4月3日～令和4年3月26日の毎週土曜日

午前10時～正午(全46回)

ところ 公民館東分館 集会室A・B

講師 小金井烏鷲の会

対象 市内在住・在学の小学生

定員 10人(多数抽選)

参加費 無料

申込・問合先 3月22日(必着)までに、往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・学校名・新学年・電話番号を明記し、公民館東分館「ひがし子ども囲碁教室」(〒184-0011 東町1-39-1 ☎042-384-4422)へ。



成人学校

「菜園教室」 本館



とき 4月14日～翌年3月9日(全41回)

原則毎週水曜日

午前10時～正午(夏時間等変更有)

ところ ふれあい農園(中町2丁目)

講師 泉富夫さん(農業研究家)

対象 市内在住・在勤・在学で年間を通じて参加できる方

定員 15人(多数抽選)

費用 前期3,000円(種苗・肥料代等)

後期同額程度

申込 3月23日(必着)までに、往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、公民館本館「菜園教室」係(〒184-0004 小金井市本町2-15-11 ☎042-383-1184)へ。

成人学校 令和3年度「きたまちセンターの花サポーター講座」準備会 貫井北分館

花の知識を深める講座に参加し、サポーターとしても活躍する「きたまちセンターの花サポーター講座」。令和3年度の講座内容について意見交換をしませんか？

とき 4月16日(金) 午前10時～11時

ところ 公民館貫井北分館学習室C・D

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 10人(申込順)

参加費 無料

申込 3月15日(月)午前9時から電話、または公民館貫井北分館窓口(☎042-385-3401)へ。

講座報告 成人学校 「はじめの一步!手話でコミュニケーション」 実施 12月3日・10日 本館

困っている人を見かけたとき、勇気を出して声をかける「はじめの一步」を踏みだすために、手話に挑戦する講座を2回にわたり実施しました。

聴こえない方の困りごとをうかがいながら、手話およびコミュニケーションの入り口を学ぶことを目的とした講座で、小金井市聴覚者協会の平野澄江さんを講師にお招きし、小金井市登録手話通訳者連絡会の3名の方にお手伝いをいただきました。



第1回・2回ともに聴こえない方の生活での困りごとや不便なことをお話していただき、受講生の皆さんは初めて聞く内容に驚くことが多かったようです。講座の後半は、名前を表現しての自己紹介や住所などの手話を一人一人指導していただき、皆さん熱心に練習していました。

講座に参加する受講生の熱心なお顔から、講座の内容が充実したものであると実感できました。手話での会話は車座になってほしいところでしたが、コロナ禍のなか受講生同士のソーシャルディスタンスをとる必要があり、受講生同士が離れてお互いの手話を見合いながらできなかったのが残念でした。

2回の講座で手話の入り口を学んだ受講生は、引き続き手話を学びたいと小金井市障害者センターでの手話講習会を考える方、習った手話を家族に教えようと思う方、街で困った方がいたら身近に行ってお役に立ちたいなど、それぞれの「はじめの一步」を踏みだしたようでした。

公民館企画実行委員のひと言 (令和2年7月21日～4年7月20日) 貫井南分館

※感染症予防対策を行い、撮影時のみ、マスクを外して喋らず撮影しています。



後列右から、高橋委員、阿部委員、齊藤委員
前列右から、金ヶ江委員、今村委員、大野委員

貫井南分館企画実行委員 阿部 光子

2期目を迎えました。今期もどうぞよろしくお願ひします。1期目、各講座のお手伝いをさせていただきながら自身も共に学びました。公民館では、間口を広く、有意義で実りある講座を出来る限り多くの人が共有し、参加出来る場である事を周知していきたいと思ひます。

貫井南分館企画実行委員 今村 誠

今期から2期目になります今村と申します。一期目の実行委員を務めることにより、公民館の地域社会に果たす役割の重要性に気づきました。コロナ禍により公民館の活動も縮小を余儀なくされておりますが、実行委員としてより細かいサービスが出来れば良いと思っております。

貫井南分館企画実行委員 大野 芳輝

委員2期3年目となり、まさに中盤にはいったと、重責を感じております。今までの良かったこと、反省点の事案を参考に、皆様に喜んでいただき、公民館ファンになって頂ける事柄を提案します。昨年まで想像もつかなかった、厳しい感染拡大対策の中、WITHコロナで、安全第一で、可能な限り取り組んで参ります。

貫井南分館企画実行委員 金ヶ江 博紀

2期目の企画実行委員を務めさせていただきます。1期目は、けやき学級(高齢者学級)を中心に活動してきました。今期も、職員の方々、企画実行委員の皆さまと協力しあい、より良い企画を提供できるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

貫井南分館企画実行委員 高橋 陽子

2期目に入りました。1期に担当しました講座「江戸野菜に親しもう」は最後の開催の予定でしたがコロナで中止になり残念です。高齢者学級は人数半減ですが、換気や健康に気を付け、参加して良かったといわれる楽しい学級になるよう運営に関わってまいります。

貫井南分館企画実行委員 齊藤 美恵子

障がいがある人達の活動支援、老人施設でのボランティアなどなどに関わってきましたが、一番身近な自分の地域のことを何も知らないことに気づきました。世代を超えて地域に根付いた豊かな交流の場となっている公民館で皆様と一緒に楽しく学ばせていただきたいと思ひます。

◆小金井市各公民館 Twitterアカウント・問合せ先一覧◆

小金井市公民館	公民館貫井南分館	公民館緑分館	公民館東分館	公民館貫井北分館
本町 2-15-11 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
本館・貫井南分館・緑分館共通アカウント 小金井市公民館 @koganei_koumink			 小金井市東センター @npo_higashi	 公民館 貫井北分館 @cc_nukuikita

公民館の取り組み 「地域のコミュニティ作り ～公民館講座受講を期に地域デビュー～」 貫井南分館

公民館は人と人の出会いの場でもあり、これからの人生100年時代への取り組みとしてもとても重要なことと考えています。

貫井南分館が抱える問題として、センターまつりに出席していたサークル団体の高齢化に伴う解散やマンパワー不足によるまつりの参加辞退などがここ数年顕著なため、貫井南分館では新たなサークル団体結成を目的にきっかけが生まれる講座の開催を積極的に行っています。

令和元年度に実施した成人学校「書に親しむ」から、自主サークル「書道山ぢさ会」が結成されました。サークル名の由来は、講師がかなの書で書く万葉集の中に「山ぢさの花」が出てくると、武蔵小金井駅北側にある「延寿の木」に咲く花「山ぢさ」（小さな白い花）が可愛いということが相まってのことだそうです。令和2年度開催の同講師による講座からもサークルへ入会があり、今後も継続された活動が期待されます。



成人学校「書に親しむ」の様子

貫井南センターの発表部門で出演しているアコースティックギター弾き語りのサークル「JULAN（じゅらん）」も以前公民館講座から発生したサークルです。市民まつりなどへの出演のほか、コロナ禍以前は市内の老人福祉施設、介護施設でのボランティア演奏など地域への還元する活動も行っていました。

今年度、貫井南分館ではウクレレを行うサークルはないかとの問い合わせが相次いだため、新たなきっかけとなるかと考え、ウクレレ入門講座を実施しています。

今年度、貫井南分館ではウクレレを行うサークルはないかとの問い合わせが相次いだため、新たなきっかけとなるかと考え、ウクレレ入門講座を実施しています。

今後もコロナ禍で先が見通せないときではありますが、地域と人が活性化するコミュニティができるような仕掛けを積極的に取り組んでいきたいと考えています。

公民館からの情報発信

Twitter活用でリアルタイムの状況を！

公民館はTwitter（ツイッター）を運用しています。公民館（本館・貫井南分館・緑分館）、東センター、貫井北分館の3つの公民館アカウントがあります。

毎月発行している月刊こうみんかん4面上部にアカウントのQRコードを掲載しています。上記のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取るか、記載されたID検索を行うとアクセスできます。



公民館からのリアルタイムの情報を是非ご活用ください

Twitterの活用方法とは？

Q Twitterは何を使えば見ることが出来るの？

A パソコン・タブレット端末・スマートフォンなどインターネット接続環境のあるIT機器で閲覧することができます。Twitter自体は無料のサービスですが、閲覧にはデータ通信料がかかります。

Q Twitterは登録しないと見ることができないの？

A アカウント登録がない場合でも閲覧することは可能です。「いいね」などを送ることができないなど利用の制限がありますがつぶやき自体はだれでもみることができます。

Q 公民館はどんなことをつぶやいているの？

A 市報に掲載する講座の詳細情報、月刊こうみんかんの電子版、講座の応募状況などを周知していきます。貫井北分館・東センターのアカウントでは、講座の紹介の他併設する図書館の情報や、センター内の様子もお届けしています。

※公民館のTwitter（ツイッター）アカウントは情報発信専用となります。リプライ（返信）などの対応はしていません。ツイート上の情報へのお問い合わせは、直接公民館までご連絡ください。

月刊こうみんかん 市民投稿の話題を募集！

- 「心に残った一冊・名画・音楽」「地域を歩く」
あなたのおきのお勧めを想い出や感想と共に月刊こうみんかん掲載してみませんか？

問合せ 公民館本館（〒184-0004 小金井市本町 2-15-11 ☎042-383-1184 FAX042-387-1226）✉k020499@koganei-shi.jp